

第4章 調和の中でふるさとを演出するまち

第1節 暮らしやすい快適なまちをつくる	
主要な施策	
I	計画的な都市空間づくり
	1 コンパクトな都市空間づくり
II	良好な景観の形成
	1 地域性を活かした景観形成

◆第4章 第1節 実施事務事業の概要		
実施事業数	4	事業
追加事業数	1	事業
未実施事業数	0	事業
統合事業数	0	事業
他包括事業数	0	事業
計画事業額	1,488	千円
実施事業額	5,286	千円

第4章 調和の中でふるさとを演出するまち

第1節 暮らしやすい快適なまちをつくる

I 計画的な都市空間づくり

第3期基本計画書 P-75

目標への接近度を図る指標等		単位	基準値	実績値H28	実績値H29	実績値H30	目標値R7	H30時点評価
指標1	地域地区の見直し回数(期間累計)	回	0	0	0	0	1	継続
指標2	区域区分の見直し回数(期間累計)	回	0	0	0	0	1	継続

II 良好な景観の形成

第3期基本計画書 P-76

目標への接近度を図る指標等		単位	基準値	実績値H28	実績値H29	実績値H30	目標値R7	H30時点評価
指標1	市内全域の景観に対する満足度	%	76.5	—	—	75.1	90.0	継続
指標2	景観形成に関する情報発信の回数	回	0	17	49	62	20	達成

【第1次実施計画期間中の取組及び成果】

○目標への接近度を図る指標等4項目の状況は次のとおりです。

- ・「景観形成に関する情報発信の回数」は、市の広報紙や公式ウェブサイト、フェイスブックを活用して景観形成と保全に関する情報発信を行った結果、目標値を大きく上回りました。
- ・「市内全域の景観に対する満足度」は、基準値と同程度となりました。
- ・「地域地区の見直し回数(期間累計)」、「区域区分の見直し回数(期間累計)」については、将来人口、経済状況及び都市構造の状況変化等をふまえ、現在着手している登別市都市計画マスタープランの更新内容と整合を図りながら、必要に応じて実施していきます。

●各施策の取組の一例は次のとおりです。

- ・『施策Ⅰ 計画的な都市空間づくり』では、登別市都市計画マスタープランの更新作業に着手していますが、本格的な人口減少の状況下ではじめて定めるマスタープランであり、市民や各種団体アンケート調査の実施、ワークショップ形式の市民会議等を開催し、より多くの意見を頂きながら、これからのまちづくりの方針の検討を継続してきました。
- ・『施策Ⅱ 良好な景観の形成』では、市民を対象に、花の寄せ植えや庭木の剪定方法などフラワーマスターによる「みどりの講習会」を行い、緑に対する関心を高めています。さらに、景観フォトパネル展を開催し、登別の魅力ある自然景観を写真で伝える取り組みや、都市公園キウシト湿原の登別景観・みどり遺産に指定、東京農業大学名誉教授 蓑茂 壽太郎氏による講演会の開催、登別温泉町に在る「湯守りの桂」を保護樹として指定など、景観保全の意識を高める試みを継続しました。

【主な施策の主要事業】

単位：千円

主な施策	基本的な方向	主要事業	事業費			事業区分	H30時点評価	
			平成28年度	平成29年度	平成30年度			
Ⅰ 計画的な都市空間づくり								
1 コンパクトな都市空間づくり								
		都市計画における地域地区・区域区分の見直し事務	計画額	—	—	—	実施事業	都市政策G
			決算額	—	—	—		
		都市計画マスタープラン更新事業費	計画額	※	※	※	追加事業	都市政策G
			決算額	0	0	4,752		
		都市施設等の適正配置に伴う事務	計画額	—	—	—	実施事業	都市政策G
			決算額	—	—	—		
Ⅱ 良好な景観の形成								
1 地域性を活かした景観形成								
		景観みどり推進経費	計画額	496	496	496	実施事業	都市政策G
			決算額	201	122	211		

主な 施策	基本的な 方向	主要事業		事業費			事業区分	H30時点評価
				平成28年度	平成29年度	平成30年度		
		景観とみどりに関する意識啓発	計画額	—	—	—	実施事業	都市政策G
			決算額	—	—	—		

第4章 調和の中でふるさとを演出するまち

第2節 良好な住環境と都市機能が調和したまちをつくる	
主要な施策	
I 快適な住環境づくり	
1 身近な公園・緑地等の創出と保全	
2 安全で安心な水の安定供給	
II 良好な居住空間づくり	
1 良好な民間住宅の供給促進	
2 優良な宅地の供給促進	
3 良好な市営住宅の供給	

◆第4章 第2節 実施事務事業の概要		
実施事業数	21	事業
追加事業数	2	事業
未実施事業数	1	事業
統合事業数	0	事業
他包括事業数	0	事業
計画事業額	3,353,806	千円
実施事業額	2,443,161	千円

第4章 調和の中でふるさとを演出するまち

第2節 良好な住環境と都市機能が調和したまちをつくる

I 快適な住環境づくり

第3期基本計画書 P-79

目標への接近度を図る指標等		単位	基準値	実績値H28	実績値H29	実績値H30	目標値R7	H30時点評価
指標1	市街化区域の市民一人あたりの都市公園面積	m ²	3.9	3.9	3.9	4.1	5.0	進展
指標2	長寿命化計画に基づく都市公園における遊具の健全度	%	70.0	73.0	74.1	78.4	100.0	進展
指標3	公共施設等への草花、樹木の植栽実施町内会数	町内会	58	57	54	52	67	遅延
指標4	浄水施設の耐震化率	%	0.0	0.0	0.0	0.0	30.0	継続
指標5	上水道石綿セメント管の更新	m	1,752	1,478	1,125	985	0	進展

目標への接近度を図る指標等		単位	基準値H27	実績値H28	実績値H29	実績値H30	目標値R7	H30時点評価
指標1	バリアフリー化した公営住宅の割合	%	16.0	16.0	17.0	17.0	23.0	進展
指標2	市営住宅の戸数	戸	1,448	1,442	1,422	1,422	1,375	進展

【第1次実施計画期間中の取組及び成果】

○目標への接近度を図る指標等7項目の状況は次のとおりです。

- ・「市街化区域の市民一人あたりの都市公園面積」、「長寿命化計画に基づく都市公園における遊具の健全度」、「バリアフリー化した公営住宅の割合」、「市営住宅の戸数」の4項目については、計画的な取組の推進により、基準値を上回り、着実に目標値に近づいています。
- ・「上水道石綿セメント管の更新」は、全ての石綿管の廃止または更新することを目標としており、年々残存延長が減少しています。
- ・「公共施設等への草花、樹木の植栽実施町内会数」は、町内会員数の減少や高齢化を理由に基準値を下回りましたが、今後は従来の文書による事業案内に加え、各町内会に対して個別に本事業の意義を丁寧に説明し参加を呼びかけることで、参加町内会数の増加を目指します。
- ・「浄水施設の耐震化率」は、3か年での進捗はありません。

●各施策の取組の一例は次のとおりです。

- ・『施策Ⅰ 快適な住環境づくり』については、「都市公園施設長寿命化事業」では、都市公園の公園施設を計画的に改築、修繕を行いました。また、「登別市街区公園等清掃交付金事業」では、単位町内会等地域住民の協力のもと、街区公園等の適切な維持管理を行いました。さらに、「送配水施設整備事業」、「簡易水道施設送配水施設整備事業」では、安全な水の供給に資する取組を継続しています。
- ・『施策Ⅱ 良好な居住空間づくり』では、市民のライフステージ、ライフスタイルに応じた優良な住宅の供給を誘導するための事務事業を展開しました。「要緊急安全確認大規模建築物耐震化促進事業」では、要緊急安全確認大規模建築物の所有者に対し、耐震化に要する費用の一部を助成しました。また、市営住宅の建物や設備についての維持更新を行い、入居者が快適で安心して生活できる市営住宅の整備に努めました。さらに、「耐震改修促進計画見直し事業」では、市内の住宅・建築物の耐震化状況を把握するための基礎調査を実施し、それらを基に登別市耐震改修促進計画の次期計画を策定しました。

【主な施策の主要事業】

単位：千円

主な施策	基本的な方向	主要事業	事業費			事業区分	H30時点評価	
			平成28年度	平成29年度	平成30年度			
I 快適な住環境づくり								
1 身近な公園・緑地等の創出と保全								
		都市公園施設長寿命化事業	計画額	35,500	36,100	36,100	実施事業	土木・公園G
			決算額	29,823	32,228	29,086		
		公園維持管理経費	計画額	28,477	28,477	28,477	実施事業	土木・公園G
			決算額	84,268	84,860	85,177		

主な 施策	基本的な 方向	主要事業		事業費			事業区分	H30時点評価	
				平成28年度	平成29年度	平成30年度			
		登別市街区公園等清掃交付金事業	計画額	610	610	610	実施事業	土木・公園G	
			決算額	610	605	600			
		緑化推進経費	計画額	3,960	3,960	3,960	実施事業	土木・公園G	
			決算額	3,958	3,865	3,899			
	2 安全で安心な水の安定供給								
			送配水施設整備事業	計画額	314,000	459,000	367,000	実施事業	水道G
				決算額	204,612	478,183	428,349		
			簡易水道施設送配水施設整備事業	計画額	16,000	15,000	15,000	実施事業	簡易水道G
				決算額	15,434	15,498	15,444		
			簡易水道法適化事業	計画額	3,564	4,752	6,588	実施事業	簡易水道G
決算額				3,294	4,752	12,096			
II 良好な居住空間づくり									
1 良好な民間住宅の供給促進									
		要緊急安全確認大規模建築物耐震化促進事業	計画額	9,050	739,568	97,477	実施事業	建築住宅G	
			決算額	64,423	8,050	535,061			
		民間特定既存耐震不適格建築物耐震化促進事業	計画額	2,000	2,000	2,000	実施事業	建築住宅G	
			決算額	0	0	0			
		木造住宅耐震化促進事業	計画額	100	100	100	実施事業	建築住宅G	
			決算額	0	0	0			
		要緊急安全確認大規模建築物耐震化促進事業補助金(単 分)	計画額	※	※	※	追加事業	建築住宅G	
			決算額	0	5,570	0			
2 優良な宅地の供給促進									
		良好な宅地供給のための適正な指導事務	計画額	—	—	—	実施事業	建築住宅G	
			決算額	—	—	—			

主な 施策	基本的な 方向	主要事業	事業費			事業区分	H30時点評価	
			平成28年度	平成29年度	平成30年度			
3 良好な市営住宅の供給								
		市営住宅除却事業	計画額	7,500	684	11,900	実施事業	建築住宅G
			決算額	6,329	0	0		
		市営住宅(千代の台団地)建替事業	計画額	56,906	193,356	656,570	実施事業	建築住宅G
			決算額	46,554	68,411	76,929		
		市営住宅(見晴団地)大規模改修事業	計画額	0	40,740	0	未実施事業	建築住宅G
			決算額	0	0	0		
		耐震改修促進計画見直し事業	計画額	2,350	0	0	実施事業	建築住宅G
			決算額	0	2,163	0		
		市営住宅屋根外壁改修事業	計画額	9,450	9,700	9,700	実施事業	建築住宅G
			決算額	9,072	10,692	11,362		
		登別温泉団地浄化槽改修事業	計画額	300	30,000	0	実施事業	建築住宅G
			決算額	297	4,536	23,760		
		市営住宅周辺整備事業	計画額	1,000	6,170	9,931	実施事業	建築住宅G
			決算額	0	3,480	0		
		市営住宅物置建替事業	計画額	0	12,900	0	実施事業	建築住宅G
			決算額	0	6,340	6,340		
		市営住宅非常用照明改修事業	計画額	0	0	16,096	実施事業	建築住宅G
			決算額	0	0	5,087		
		市営住宅給水設備改修事業	計画額	0	8,723	9,690	実施事業	建築住宅G
			決算額	0	8,500	0		
		市営住宅における民間活力の導入の検討事務	計画額	—	—	—	実施事業	建築住宅G
			決算額	—	—	—		
		市営住宅等長寿命化計画策定事業	計画額	※	※	※	追加事業	建築住宅G
			決算額	0	0	3,564		

第4章 調和の中でふるさとを演出するまち

第3節 道路交通網の整ったまちをつくる

主要な施策

I 総合的な交通網の整備

- 1 道路網の整備・適正な維持管理
- 2 交通手段の確保

◆第4章 第3節 実施事務事業の概要

実施事業数	16	事業
追加事業数	0	事業
未実施事業数	0	事業
統合事業数	0	事業
他包括事業数	0	事業
計画事業額	2,032,126	千円
実施事業額	1,895,995	千円

第4章 調和の中でふるさとを演出するまち

第3節 道路交通網の整ったまちをつくる

I 総合的な交通網の整備

第3期基本計画書 P-85

目標への接近度を図る指標等		単位	基準値	実績値H28	実績値H29	実績値H30	目標値R7	H30時点評価
指標1	既設橋梁の修繕数	橋	3	4	5	5	60	継続
指標2	市道認定路線延長の改修率	%	44.2	44.7	44.9	45.2	48.3	進展
指標3	幹線道路(都市計画道路:国道及び道道を含む)の整備率	%	54.6	54.6	55.9	55.9	57.0	進展

【第1次実施計画期間中の取組及び成果】

○目標への接近度を図る指標等3項目の状況は次のとおりです。
 ・「市道認定路線延長の改修率」、「幹線道路(都市計画道路:国道及び道道を含む)の整備率」は、基準値を上回り、着実に目標値に近づいています。
 ・「既設橋梁の修繕数」は、基準値を上回っていますが、国からの交付金が計画額を下回っているなどの理由から、整備予定数と比較して進捗状況が芳しくない状況です。

●各施策の取組の一例は次のとおりです。
 ・「除雪委託事業」や「冬道対策事業」等の冬道の安全確保に資する事業、「橋梁長寿命化事業」や「道路付属施設整備事業」といった幹線道路や市民の安全に密接に関係する生活道路の適切な維持管理及び更新に資する事業を実施しました。また、「地方生活バス路線維持費補助金」では、国と地方公共団体が適切に役割分担し、市民の移動の利便性向上に努めました。

【主な施策の主要事業】

単位:千円

主な 施策	基本的な 方向	主要事業	事業費			事業区分	H30時点評価	
			平成28年度	平成29年度	平成30年度			
I 総合的な交通網の整備								
1 道路網の整備・適正な維持管理								
		道道上登別室蘭線3・4・313東通改良受託事業	計画額	71,224	315,281	347,081	実施事業	都市政策G
			決算額	71,380	251,529	204,397		
		地籍調査管理システム更新事業	計画額	519	519	519	実施事業	土木・公園G
			決算額	519	0	0		
		地籍調査事業(地籍調査管理経費)	計画額	400	400	400	実施事業	土木・公園G
			決算額	0	153	519		
		道路台帳整備事業	計画額	3,000	3,000	3,000	実施事業	土木・公園G
			決算額	2,916	2,916	3,294		
		市道用地確定測量事業	計画額	4,500	4,500	4,500	実施事業	土木・公園G
			決算額	3,596	5,298	4,601		
		市道用地買収事業(未処理用地)	計画額	1,500	1,500	1,500	実施事業	土木・公園G
			決算額	294	0	27		
		市道舗装排水整備事業	計画額	110,000	100,000	100,000	実施事業	土木・公園G
			決算額	109,385	148,278	138,323		

主な 施策	基本的な 方向	主要事業		事業費			事業区分	H30時点評価		
				平成28年度	平成29年度	平成30年度				
		除雪機械更新事業	計画額	36,977	0	45,000	実施事業	土木・公園G		
			決算額	31,597	0	34,739				
		除雪委託事業	計画額	55,000	55,000	55,000	実施事業	土木・公園G		
			決算額	90,889	125,590	91,480				
		冬道対策事業	計画額	6,539	6,539	6,539	実施事業	土木・公園G		
			決算額	6,532	8,035	6,260				
		道路維持補修・市道舗装補修事業	計画額	118,773	118,773	118,773	実施事業	土木・公園G		
			決算額	114,047	117,801	121,768				
		橋梁維持補修事業	計画額	2,511	2,511	2,511	実施事業	土木・公園G		
			決算額	2,180	2,403	2,511				
		橋梁長寿命化事業	計画額	33,015	45,000	45,000	実施事業	土木・公園G		
			決算額	29,874	37,227	30,237				
		道路付属施設整備事業	計画額	58,642	53,000	80,000	実施事業	土木・公園G		
			決算額	31,497	17,398	30,181				
		新しい除雪体制	計画額	—	—	—	実施事業	土木・公園G		
			決算額	—	—	—				
		2 交通手段の確保								
				地方生活バス路線維持費補助金	計画額	4,560	4,560	4,560	実施事業	市民サービスG
決算額	4,920				5,701	5,703				